

復興道路 三陸沿岸道路 釜石山田道路かわらばん



第59号 つなげよう！命の道

発行：釜石山田道路安全協議会
代表：西松建設株式会社
編集・監修：国土交通省 南三陸国道事務所
建設監督官(釜石山田道路担当)
発行日：平成27年2月23日

(仮称)小鍬第1、小鍬第2トンネルで現場見学会が行われました

平成27年1月24日(土)、(仮称)小鍬第1トンネル、小鍬第2トンネルにおいて、大槌町町民23名(内小学生12名)による現場見学会が行われました。

三陸沿岸道路(釜石山田道路)の工事の一環として施工する(仮称)小鍬第1トンネル(延長309m)は大槌町小鍬から大槌町寺野沢を結ぶトンネルで、西松建設株式が工事を担当し平成26年9月から掘削しています。(仮称)小鍬第2トンネル(延長975m)は大槌町小鍬から大槌町大槌を結ぶトンネルで東亜建設工業株式が工事を担当しこちらも平成26年9月から掘削しています。

見学会では、まず(仮称)小鍬第2トンネルの終点側坑口で防音扉の前で発破の音を体験して頂き、小学生からの『トンネルはなぜ丸いの?』の質問に模型などでトンネルの構造や仕組みなどの説明して理解を深めてもらいました。次に小鍬第1トンネルに移動してトンネルを掘っている自由断面掘削機SLB300Sや、コンクリート吹付機を小学生達に実際に操作して頂きました。

未来を担う小学生達には、見学を通してトンネルや道路工事に興味を持って頂けたようです。



模型を使ったトンネルの仕組みの学習



吹付機をリモコンで操作する小学生達



自由断面掘削機をリモコンで操作する小学生達

(仮称)大槌第1トンネルで現場見学会が行われました

(仮称)大槌第1トンネルにおいて、現場見学会が行われました。

- ・平成27年1月30日(金)県立大槌高等学校の2年生45名並びに教職員7名
- ・平成27年2月1日(日)地域住民の方々31名

大槌高等学校の方々には、化学の授業の一環として、『化学が身近なところで役立っている』ことを体感して頂くねらいで発破掘削作業を中心に見学して頂きました。

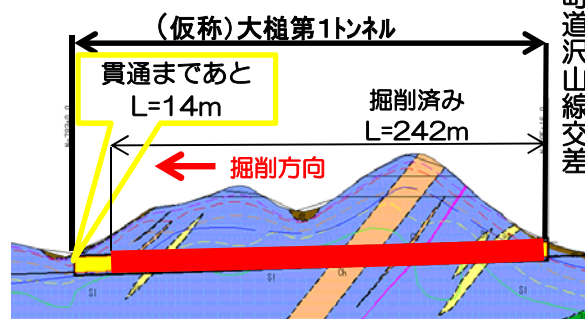
又、地域住民の方々には工事現場や復興道路を身近に知って頂けるようトンネルの施工方法から完成した際の復興道路の整備効果について理解を深めて頂きました。

(仮称)大槌第1トンネル(延長256m)は大槌町沢山から県立大槌高校西側を結ぶトンネルで、前田建設工業株式が工事を担当し平成26年7月から掘削を開始し、皆様のご協力のもと平成27年2月末に貫通する予定となりました。

今後も私たち施工者一同、早期の完成を目指して尽力していきますので今後ともよろしく お願いします。

トンネル縦断図

(H27年2月18日現在 進捗状況)



発破前、トンネル先端で発破のしほりを学習



地域住民の方々と施工者が一緒に記念撮影

※トンネルなど復興道路として整備されている釜石山田道路の見学を希望される方は、次のアドレスに掲載されている申し込み方法等をご確認して申込みください。
<http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html>

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。 国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所 建設監督官(釜石山田道路担当)

〒026-0301 釜石市輪住居町第7地割13-7 TEL:0193-29-1625

FAX:0193-29-1645

ホームページ URL: <http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html>

事務所の問い合わせ、メールアドレス: minamisanriku@thr.mlit.go.jp

